

令和7年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

令和7年度における活動内容記入願います。

氏名	ダンヒェウチュン	活動年数	1年
活動目標	<p>外国人技能実習生および在住外国人が仁木町で安心して生活し、地域住民と良好な関係を築きながら地域社会の一員として活躍できる環境を整備することを目標とした。</p> <p>具体的には、日本語学習支援の実施、生活情報の多言語化、相談支援体制の構築、文化交流の促進を通じて、多文化共生の基盤づくりを行うことを目的とした。</p>		
活動内容 ※500文字以上	<p>令和7年度は、外国人支援の基盤整備と実践的な日本語学習支援に重点を置いて活動を行った。特に「ニキニコトーククラス」を立ち上げ、地域在住外国人を対象に継続的な日本語学習支援を実施した。本クラスでは、日常会話だけでなく、農業分野に必要な専門用語や特定技能2号試験対策も取り入れ、実践的な内容とした。その結果、受講者1名が令和8年1月に特定技能2号試験に合格する成果を上げた。</p> <p>また、外国人住民との継続的な対話を通じて生活上の課題や不安を把握し、必要に応じて行政手続きの説明や情報提供を行った。地域内の外国人住民との信頼関係を構築し、相談しやすい関係性を築いたことは大きな成果である。</p> <p>さらに、庁内各課と連携し、生活情報の整理やガイドブック作成の基礎資料収集を行い、多言語による情報提供の土台づくりを進めた。加えて、令和7年11月には町長のベトナム訪問に同行し、通訳として支援を行った。海外との連携において円滑な意思疎通を図り、仁木町の国際的な関係構築に貢献した。</p> <p>これらの活動を通じ、外国人支援を「単発の対応」ではなく、継続的な支援体制へと発展させるための基盤を構築することができた。</p>		
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況</p> <p>当初の計画では交流イベントの開催なども想定していたが、まずは実態把握と支援体制の基盤づくりに重点を置いた。その結果、ニキニコトーククラスの立ち上げや外国人住民との関係構築など、継続可能な活動の基礎を築くことができた。特定技能2号合格者を輩出できたことは、具体的な成果として評価できる。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>外国人住民との信頼関係は着実に構築されており、相談や情報共有が増えている。行政との連携も徐々に進み、多文化共生に向けた基盤は形成されつつある。一方で、制度化や仕組みとしての確立には至っていないため、今後は体制整備と持続性の確保が課題である。</p>		

抱負	2年目以降は、ニキニコトーククラスの安定運営と内容の充実を図るとともに、外国人相談支援の仕組み化を目指す。また、ガイドブックの完成・活用を通じて、外国人住民が自立して生活できる環境を整備する。将来的には、仁木町における多文化共生のモデルを構築し、地域活性化に寄与できる体制づくりを進めていきたい。
その他	※一年間で得た表彰、資格等がありましたらご記入ください。 なし

※活動がわかる写真を掲載してください。(複数可)



ニキニコトーククラス授業風景



交通安全運動に参加



ベトナムでの研修（町長同行行事に参加）

活動写真